

ネオニコチノイド系農薬って何？

ニコチンとネオニコチノイド系農薬2種の構造式



そもそも、ネオニコチノイド系農薬とは何でしょう？最近多く使われている農薬（殺虫剤の1種）です。

タバコの有害成分ニコチンに似ているので、ネオニコチノイド（新しいニコチン物質）という名前がついています。

ネオニコチノイド系農薬は神経毒性、浸透性、残効性を特徴と

します。ミツバチを含む昆虫類、生態系だけでなく、子ども達の健康な発達を脅かす可能性があります。

世界で起きたミツバチ減少と大量死

世界中でミツバチの大量死や数の減少が報告されています。この現象は、蜂群崩壊症候群（ほうぐんほうかいしょうこうぐん）、CCDと呼ばれています。2012年現在、アメリカ、カナダ、中南米、インド、中国、日本などにも広がっています。

この現象の原因として、

- ・地球温暖化によるダニなど病害虫の増加
- ・森林伐採による生息地や蜜源となる花の減少
- ・人間の都合で家畜化されたこと



こうした原因のなかで最も直接的な原因とみられているのがネオニコチノイド系農薬です。

ネオニコフリーの取組み

ネオニコチノイド系農薬を使用しない、ネオニコフリーの農業への取組みが始まっています。茨城県笠間市や大子町では「みつばちの里」計画が進んでおり、ミツバチや生きものたち安心して暮らせる環境の元で育ったお米作りがスタートしました。おいしく食べて、生産者を応援する、こうした取り組みは今後全国各地に展開していく予定です。



ネオニコチノイド系農薬の使用中止を求めるネットワーク事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-21 戸田ビル4階

Tel:03-5368-2735 Fax:03-5368-2736

e-mail neonico22@ybb.ne.jp <http://no-neonico.jp/>

子どもたちとミツバチを守る、ネオニコチノイド系農薬の使用中止を求めるネットワーク

活動について

私たちは、子どもやミツバチを守るため、ネオニコチノイド系農薬の使用中止を目指し、全国各地で様々な活動を行っています。

- ・空中散布の中止の呼びかけ
- ・政策提言
- ・田んぼの生きもの調査
- ・ネオニコフリーの普及
- ・ネオニコチノイドの影響を広く一般の人に知らせる活動

～人や生態系に有害な農薬の使用を止め、または減らすことにより、子どもやミツバチを初めとした生き物たちが安心して、生まれ育つことができる環境づくりを目指しています。～

生活にあふれる危険・ネオニコチノイド

私たちの生活のなかにもネオニコチノイド系農薬が使われています。

林業 松枯れ防除として

ガーデニング 殺虫剤として

農業 稲・果物・野菜の殺虫剤として

家 シロアリ駆除・建材として

ペット ペットののみとりとして

家庭用殺虫剤 害虫駆除、殺虫剤として

ネオニコチノイド系農薬は家庭用殺虫剤や、ペットののみとり商品として私たちの身近にあふれています。

私たちのビジョンとは

農業の現場では、農作物の病害虫を予防、駆除するために様々な農薬が使われています。作物の病気の予防、駆除という反面、人体に悪い影響があることが知られてきました。ヨーロッパなどでは、有機リン系農薬は発がん性があるとして、人体に害があることから使用が禁じられるようになりました。また、ネオニコチノイド系農薬はミツバチの大量死と関係があることも分かってきました。ミツバチはハチミツを採るだけでなく、受粉の役割を果たしています。もちろん他の生き物にとってもネオニコチノイド系農薬の影響は深刻です。

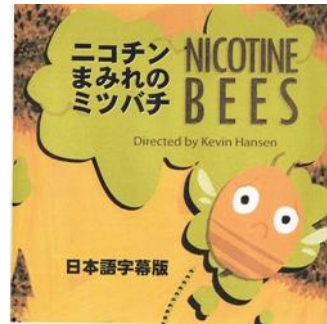


こうした事実を踏まえ、いま何が起きているのかを正しく調べ、多くの人に知ってもらうこと、それが危険なものであった場合、できるかぎり使用を中止するよう呼びかけることが私たちの使命と考えています。

生きもののいない地球を子どもたちに残さない。ネオニコチノイド系農薬の使用中止を実現することで、未来世代の子どもたちや野生動物が安心して生まれ育つ環境の確保を目指します。



ニコチンビーについて



養蜂は蜂蜜を採る仕事だと思われがちですが、本当の仕事は受粉なのです。アメリカでは年間 150 億ドルの作物がミツバチに頼っています。2006 年までに世界中で大量のミツバチが消えました。

アメリカで 50% ドイツとフランスで 40% カナダではたった数ヶ月で 50% が消失しました。

科学者や養蜂業者はあらゆる原因を検討しました。

ノゼマ病、腐そ病、チョーク病などの病気、ミツバチヘギータダニなどの寄生虫、受粉のための移動によるストレス、イスラエル急性麻痺病などのウイルス、遺伝子組み換え作物、携帯電話の電磁波、農作物や庭の草花やミツバチ自身に使用される農薬や化学物質…そして全国共通の原因を考えました。これは、その原因を究明した貴重な映画です。

特定の殺虫剤や種子処理剤の関与は明白で疑いの余地はありません。

しかし日本のほとんどの科学者や専門家は農薬説を口にしません。



世界各地で報告されているネオニコチノイド系農薬の被害は、日本では未だ一般の方には周知されておらず、年々深刻な状況になっているといっても過言ではありません。ミツバチだけの問題ではなく、人体に与える影響、ことに健康被害については誰にとっても無関係とはいえない問題です。ネオニコネットでは 2011 年より全国で空中散布の中止の呼びかけ、政策提言、田んぼの生きもの調査、ネオニコフリーのお米作りなどを中心に、ネオニコチノイドの影響を広く一般の人に知らせる活動を行っております。今回、私たちはこうした状況を伝えるために本 DVD を翻訳しました。

そして、一人でも多くの方に広めるため、全国各地での上映会を募集しております。

DVD は上映権付きで ¥5000 (税込) で販売しております。この費用は DVD 送料、ネオニコネットの活動運営に使用させていただきます。

ぜひ、全国各地の学校や団体に上映会を開催してください。ご希望があれば上映会開催日時をネオニコネット HP での告知も可能です。ぜひ、ご相談ください。翻訳、制作において一般社団法人アクト・ビヨンド・トラストの助成を受けています。

DVD 1 枚上映権付 ¥5000 (税込)

【振込先】ネオニコネット 中下裕子

東京三菱 UFJ 四谷支店 普通 0107594

